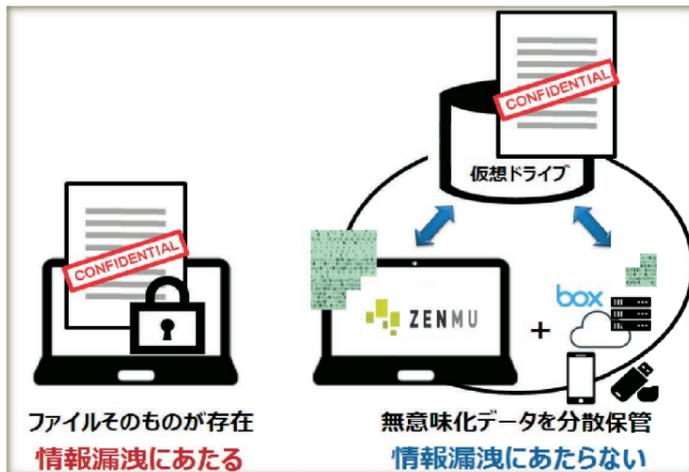


暗号化では守り切れない？

暗号鍵：鍵とデータを別々に保管しても、データ全体は一箇所にあり、理論上解読されるリスクがあります。
データを抜き取られたり紛失した場合は、たとえ鍵がなくて解読できないとしても、情報漏洩に該当します。

ZENMUの分散方式：ファイルは意味のない状態で分散され、分散片のすべてが集まらないと復元できません。(AONT秘密分散)
万一、漏洩してしまっても、その分散片だけでは機密情報、個人情報に該当しません。



データの無意味化で守らず安全！

ZENMU for PC 必要スペック (推奨)

■ ハードウェア・スペック

CPU : インテル Core™ i3以上
MEM : 4GB
HDD : 128GB/256GB (SSD推奨)
OS : Windows 7 SP1/Windows 8/8.1、
Windows Embedded 8.1 Industry
Windows10

出力ポート : USB2.0ポート以上(USB3.0ポート推奨)

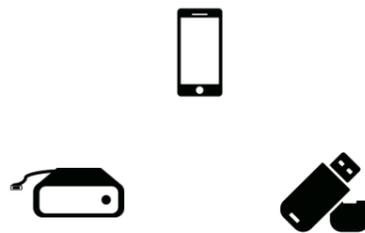


■ PASERI構成

分割数 : 2分割 (AONT方式)
分散ファイル1 : PC本体のHDD内のC : ¥ドライブに保管
分散ファイル2 :
外部記憶媒体

(共通要件：USBケーブル接続/マウントが可能なこと)

- USBメモリー：USB2.0以上 (USB3.0/ 1GB以上を推奨)
- 外付けディスク：HDD/SSD
- iPhone, Androidスマートフォン
- クラウドストレージ (Box)
- 社内のWindowsネットワーク上の共有フォルダー



“漏洩事故からの解放”

ZENMU for PC

ZENMU for PC

“漏洩事故からの解放” データの無意味化で、守らず安全

データの重要性が増す一方で、漏洩事件も後を絶たず、「**情報は守れない**」

「**情報漏洩は防げない**」前提の措置が必要です。

ZENMU for PC は、PCやタブレット（Windows）の重要データを意味のないデータに変換して分割（**無意味化**）。一片を別メディアに保管することで、PCが万一の盗難や紛失に遭っても情報漏洩事件にならず、**セキュリティポリシーの変更も可能となる発想を転換したソリューション**です。

「セキュリティ」と「利便性・生産性」の両立

セキュリティ

- PCの紛失や盗難でも**情報漏洩にならない**
- 分散片が揃わないと**絶対に復元できない**

利便性・生産性

- PCと外部記憶装置を**別々に保管**するだけ
- 重要ファイルを**ZENMUドライブ**に入れるだけ
- PCの**持ち出し**が可能に



こんな企業様にお勧めです

社外への持ち出しPC やタブレット（Windows）

- 気を付けていても起こってしまう置き忘れや盗難にも、**安心して利用**したい
- 仮想化では対応できないアプリケーションを社外で**安全に利用**したい
- 万一の盗難や紛失時も、情報漏洩としての**届け出が不要**な環境をつくりたい

社内利用

- 機密情報を扱う担当者が、**離席時にも安全**な環境を保ちたい
- **マイナンバーの管理**を簡単に行いたい

テレワークの推進（ワークライフバランス推進）

- **社外や自宅でも**利用できる端末環境をつくりたい

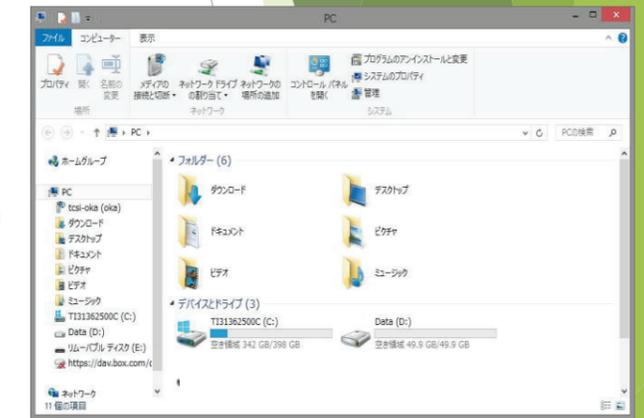
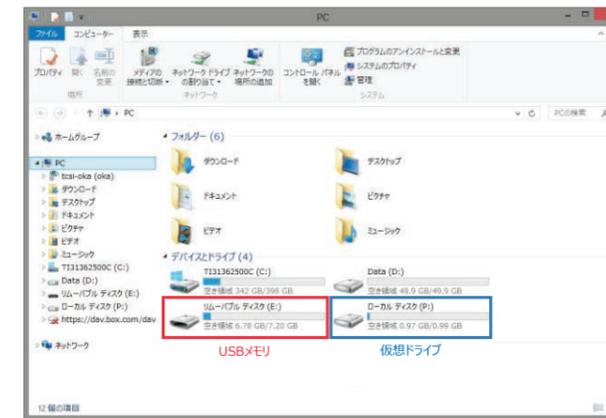
シンクライアントへの適用

- **オフラインでも**、Office などのアプリケーションを利用したい

ZENMU for PC概要

ZENMU for PCをインストールしたPCに、あらかじめ設定した外部ストレージを接続するとPC上にZENMUドライブ（仮想ドライブ）が生成され、PC内と外部ストレージに保存されている分散片から、情報を復元します。外部ストレージを切断するとZENMUドライブが消え、情報にアクセスすることはできませんので、PCが万一の盗難や紛失に遭っても、端末からの情報漏洩は起こりません。

シンプルな運用



バックアップ機能

ZENMU for PCのアンマウント時、あらかじめ設定したストレージに分散ファイル2のバックアップが生成されます。分散ファイル2を保存した外部記憶媒体の破損や紛失、また、外出の際に持ち忘れた場合にも、他のストレージ（バックアップストレージ）に保存した分散ファイルを利用して仮想ドライブを復元することが可能です。

バックアップストレージとして指定できるのは、最初に指定したストレージ（プライマリストレージ）とは異なる媒体やストレージとなります。

